

競技会で使用する略号例 (2025 年度改訂)

記録用紙やスクリーンには、次のような略号を用いて簡潔に表記する。その際、観客や競技者が意味を理解できるように、使用する略号を説明した一覧表等をプログラムに記載する。

1. スタートリスト・記録用紙・スクリーンなどに用いる略号 (CR25.4)

略 号	日 本 語 表 記	意 味
D N S	欠 場	Did Not Start
D N F	途中棄権 (トラック競技・道路競技)	Did Not Finish
N M	記録なし	No valid trial recorded
D Q	失 格	Disqualified
O	成功・有効試技 (走高跳・棒高跳)	Valid trial in High Jump and Pole Vault
X	失敗・無効試技	Failed trial
—	パ ス	Passed trial
r	試技放棄(離脱)(フィールド競技・混成競技)	Retired from competition
Q	順位による通過者	Qualified by place in Track Events
		Qualified by standard in Field Events
q	記録による通過者	Qualified by time in Track Events
		Qualified by performance in Field Events
q D	抽選による次ラウンド進出者	Advanced to next round by draw
q R	審判長の決定による通過者	Advanced to next round by Referee
q J	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal
>	ベントニー (競歩)	Bent knee (Race Walking)
~	ロス・オブ・コンタクト(競歩)	Loss of contact (Race Walking)
Y C	警 告	Yellow card
Y R C	2回目の警告	Second Yellow card
R C	レッドカードによる失格	Red card
L	レーン侵害(TRI7.3.3、TRI7.3.4)の適用	Lane Infringement (TRI7.3.3、TRI7.3.4)
P	抗議中の競技	Competing under protest

※備考

① 競技者が規則違反で失格になった場合は、相当する規則番号を明記する。

例：「DQ TRI6.8」

「DQ FS」(以下の「3.失格の理由を示す略号の例」を使用) など

なお「反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為」(TR7.1)で失格になった場合はその理由について公式記録に明記する。

② 「Q、q」について

・トラック競技の場合 (例：3組2着+2)

Q：各組2着以内の競技者 (Qualified by place)

q：3着以下で記録が上位の競技者2名 (qualified by time)

・フィールド競技の場合

Q: 予選通過標準記録突破者 (Qualified by pre-set standard)

q: TR25.15 による決勝進出者 (qualified as per TR25.15)

予選通過標準記録を突破した競技者が 12 名に満たない場合、決勝進出者を 12 名とすることから、予選通過標準記録突破者に「Q」を、TR25.15 による決勝進出者に「q」をつける。

③ 競歩競技のベント・ニー(>)、ロス・オブ・コンタクト(~)について

(>)、(~)の略号は競技運営上、競技者にパドルや掲示板で示す場合や、記録用紙に違反マークとして使用される。電光掲示板やリザルトに失格の理由が表示される場合は、「DQ」と「K1~K5」(以下の「3. 失格の理由を示す略号の例」を使用)の表記などが用いられる

2. 新記録などの略号例

略 号	日 本 語 表 記	意 味
P B	自己最高記録	Personal Best
S B	今季自己最高記録	Season Best
W R	世界記録	World Record
= W R	世界タイ記録	Equal World Record
W J R	U20世界記録	World U20 Record
= W J	U20世界タイ記録	Equal World U20 Record
N R	日本記録	National Record
= N R	日本タイ記録	Equal National Record
N J R	U20日本記録	National U20 Record
= N J	U20日本タイ記録	Equal National U20 Record
N Y R	U18日本記録	National U18 Record
= N Y	U18日本タイ記録	Equal National U18 Record
G R	大会記録 ◆	Game Record
= G R	大会タイ記録	Equal Game Record
◆ 記録に付随して用いる略号		
(W)	WRk競技会でマークされた日本記録	非WRk競技会でマークされた日本記録がWRk競技会でマークされた記録を上回る場合(W)(J)を付けて区別する
(J)	非WRk競技会でマークされた日本記録	
(Mx)	男女混合レースマークされた女性の記録	Mixed gender race
(Wo)	女性だけのレースでマークされた記録	Women only race
◆ 競技会規模や性格により異なる大会記録略号の例		
G R	国スポなど	Game Record
C R	選手権大会	Championship Record
M R	ゴールデングランプリなど	Meet Record

※備考④ 競技会が行われる年の 12 月 31 日現在で、「U20」は 18 歳あるいは 19 歳、「U18」は 16 歳あるいは 17 歳の競技者のこと。「U20」の記録は 19 歳以下、「U18」は 17 歳以下の競技者が出した時に認定される。

(JAAF-35②, 2025/4)

3. 失格の理由を示す略号の例

失格の理由を示す略号は、主催団体が決めてよい。

以下はあくまでも参考例であり規則ではなく、「DQ TR16.8」のように表記してもよい。
前述のとおり、略号を使用する場合は、観客や競技者が略号の意味を理解できるように、
略号を説明した一覧表等をプログラムなどに記載すること。

略号例	内 容	規則番号
FS	不正スタート	TR16.8
T1	他の競技者を妨害した	TR17.1
T2	TR17.3.3またはTR17.3.4を適用した後の2回目の違反	TR17.3
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	TR17.5
T5	競技者が自らの意思でトラックから離脱した	TR17.6
T6	ハードルをすべて越えなかった	TR22.6
T7	足または脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置にあった	TR22.6.1
T8	手や体、振り上げ脚の前側でハードルを倒した/移動させた	TR22.6.2
T9	自分または他のレーンのハードルを倒したり移動させて妨害した	TR22.6.3
T10	水濠と障害物をすべて越えなかった	TR23.7
T11	水濠と障害物を越える際に規則違反があった	TR23.7.1または7.2
R1	テイク・オーバー・ゾーン内でバトンパスが完了しなかった	TR24.7
R2	バトンを落とした際に規則違反があった	TR24.6
R3	コーナートップで並んだ際に規則違反があった	TR24.21または22
K1	ロス・オブ・コンタクトで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K2	ベント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K3	ロス・オブ・コンタクトとベント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K4	ロス・オブ・コンタクトで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1
K5	ベントニーで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1